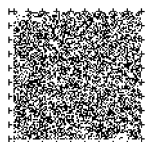


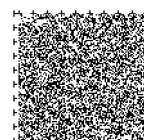
東京大学

参考資料



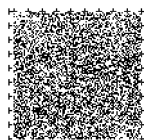
TOKYO

資料 2 — 計画策定の経緯



1 検討経過

時 期	内 容
平成 28 年 12 月 26 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 1 回） ○知事が「新たな東京都スポーツ推進計画に関する調査審議について」を東京都スポーツ振興審議会に諮問
平成 29 年 3 月 30 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 2 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）」の策定に係る調査審議 ・スポーツ実施率向上に向けた世代別のスポーツ振興施策について
平成 29 年 4 月 19 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 3 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）」の策定に係る調査審議 ・スポーツを通じた健康増進 ・障害者スポーツ振興について
平成 29 年 5 月 22 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 4 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）」の策定に係る調査審議 ・ゴールデン・スポーツイヤーズを通じたスポーツ成長産業化と社会課題解決 ・スポーツ・レクリエーションの振興について ・女性・子供のスポーツ振興を考える
平成 29 年 9 月 14 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 5 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）骨子案」に係る調査審議
平成 29 年 11 月 7 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 6 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）中間まとめ素案」に係る調査審議
平成 29 年 12 月 19 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 7 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）中間まとめ」に係る調査審議 「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）中間まとめ」を公表
平成 29 年 12 月 19 日～ 平成 30 年 1 月 18 日	都民及び関係団体等からの意見募集
平成 30 年 1 月 29 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 8 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）について（東京都スポーツ振興審議会答申案）」に係る調査審議
平成 30 年 2 月 14 日	東京都スポーツ振興審議会（第 26 期第 9 回） ○「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）について（東京都スポーツ振興審議会答申）」を知事に答申
平成 30 年 3 月 30 日	「東京都スポーツ推進総合計画」を公表



2 都民及び関係団体等からの意見募集

本計画の策定にあたっては、東京都のスポーツ振興の考え方を都民の皆さんに知っていただくとともに、スポーツ振興の取組の実効性を高めるため、「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）中間まとめ」を平成 29 年 12 月 19 日に公表し、都民の皆さんや関係団体等の意見を募集しました。

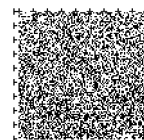
<意見の募集について>

1. 募集期間 平成 29 年 12 月 19 日から平成 30 年 1 月 18 日まで
2. 内容 「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）中間まとめ」への意見の募集
3. 意見数 33 件

<主な意見>

【具体的な取組等に関するもの】

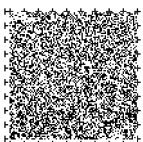
意見の内容	計画への反映
政策目標01 スポーツを通じた健康長寿の達成	
スポーツを「みる」から「する」方向への誘導が重要。アスリートからスポーツをすることの良さ、面白さ等を教室等でアピールしてもらうのはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策指針 02 「スポーツを始める機会の創出」(P.55) ・ 政策指針 25 「スポーツ観戦の魅力発信」(P.151) ・ 政策指針 30 「スポーツを通じた国際交流」(P.165)
大学キャンパスにはスポーツを活性化できる資源が存在する。大学の活用に取り組んでどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策指針 03 「スポーツを身近でできる場の確保」(P.59)
スポーツをみる場所としても大学を活用してはどうか。	
外部人材を学校部活動のコーチとして雇用し、部活動の顧問の先生の負担を軽減してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策指針 04 「成長段階にある児童・生徒の体力向上」(P.66)
政策目標02 スポーツを通じた共生社会の実現	
20 代、30 代女性の実施率が低いと記載があるが、具体的な取組があまりないので、もっと実施してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策指針 15 「性別に関わらないスポーツ振興」(P.113)
特にスポーツ実施率の低い若年層には「美容効果」や「ファッション性」など価値観やライフスタイルにあわせ、性別・世代に応じたきめ細かい動機付けを政策に盛り込んでもらいたい。	
スポーツ施設に、仮設でも構わないので車いすの人が利用しやすいトイレを増設してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策指針 17 「誰もが気軽に観戦できるスポーツ環境の整備」(P.121)



意見の内容	計画への反映
政策目標03 スポーツを通じた地域・経済の活性化	
「通勤ウォーキング」や「階段エクササイズ」など通勤時間を活用し、通勤自体を「スポーツ」として捉える「通勤スポーツ」の考え方を普及し、歩く環境の整備をしてほしい。	・「本計画におけるスポーツとは」(P.7)
働き盛り世代が多くの時間を過ごす職場において、「健康経営オフィス」の考えが多くの企業に広がるよう、整備と後押しをしてもらいたい。	・政策指針 22 「官民連携によるスポーツ気運の醸成」(P.140)
職場等において、運動会などのスポーツイベントの復活を、東京都として積極的に後押ししてほしい。	
(国の計画では) 総合型地域スポーツクラブについて、登録・認証等の制度を構築するとしている。その基準によっては地域スポーツ活動の停滞につながる恐れがあるので、慎重に対応してほしい。	・政策指針 24 「地域におけるスポーツ活動の推進」(P.147)
スポーツ推進委員については、地域における認知度が低い。スポーツ推進委員の活動内容を積極的に情報発信して、都民に還元してもらいたい。	・政策指針 24 「地域におけるスポーツ活動の推進」(P.147)
トップクラスのアスリートの活躍を身近で観戦することは、スポーツ実施率の向上につながるため、会場に都民を招待してもらいたい。	・政策指針 25 「スポーツ観戦の魅力発信」(P.151)

【記載方法等に関するもの】

意見の内容	計画への反映等
ページ数が多く、事業も多いので、事業が一覧で見られるような工夫をしてみてもどうか。	・「年次計画」(P.171)
毎年、各事業はどのようなことを行うのかの計画があるとよい。	
職域における取組を推進するためにも、経営者をはじめ、都内の企業で働く従業員にも広報してほしい。	・「計画の都民への周知」(P.169)
障害者スポーツの政策を調べるのが大変なので、障害者スポーツだけを取り出した別冊をつくってもらいたい。	・資料1 「障害者スポーツの振興」(P.188)
世界に誇る首都東京のスポーツ計画であるのだから、もっとスタイリッシュなデザインにしてほしい。	・各章や政策目標ごとの色分けとともに、写真やイラスト等を追加
これまでの計画には音声コードが入っていたので、今回の計画にも音声コードを入れて視覚障害者も計画を読めるようにしてほしい。	・各ページに音声コードを追加
外国の人にも東京都の取組を知ってもらうためにも、外国語版を作成してほしい。	・英語に対応した本計画の概要版の作成



【その他】

意見の内容

スポーツ嫌いは個性であり、スポーツが嫌いであっても良い。スポーツ嫌いが解消されるまで待つ姿勢が必要ではないか。

新交通ゆりかもめの軌道の上部空間に二段又は一段の空中回廊を設け、遊歩道、自転車道として活用し、公共施設や競技会場等と直接接続してはどうか。

都立公園内のスポーツ施設は建設局が所管しているが、スポーツ主管局に一元化した方がスケールメリットや効率的運営に寄与するのではないか。

駒沢公園のようなスポーツに特化した公園をもっと造ってほしい。

スキー・スケートを児童・生徒のうちに体験させることは重要。スキー教室を中学校だけでなく、小学校、高校でもやってほしい。

高齢者が体を動かせるように、温泉施設に歩くスペースを設けてはどうか。

性的マイノリティに言及されている点に先進性が感じられる。大変重要なことなので頑張って取り組んでほしい。

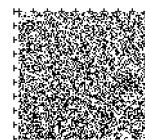
スポーツは純粋なものであり高潔なものである。スポーツを商業化することは問題である。

東京 2020 大会のメダリストパレードは、銀座だけでなく東京都全域で実施してほしい。

東京マラソンのように、東京の魅力を伝えることができ、地域への経済波及効果が期待できるようなイベントをもっと実施してほしい。

パブリックビューイングのような場を職場や地域において設けてほしい。

東京には多くのスポーツチームやアスリートが存在するので、TVや新聞等を使ってファンを増やしてほしい。

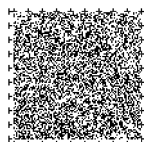


3 東京都スポーツ振興審議会(第26期)委員

任期：平成28年12月1日から平成30年11月30日まで

氏名	現職
おかだ まゆみ 岡田 真由美	(一社) 東京都スポーツ推進委員協議会副会長
おびなた くにこ 大日方 邦子	(一社) 日本パラリンピアンズ協会副会長
くりやま よしじ ※1 栗山 よしじ	前東京都議会議員
けいの しんいち ※2 けいの 信一	東京都議会議員
ごとう たかはる 後藤 忠治	東京商工会議所健康づくり・スポーツ振興委員会委員長 (セントラルスポーツ(株) 代表取締役会長)
こばやし けんじ ※1 小林 健二	東京都議会議員
さかもと よしじ 坂本 義次	東京都町村会(檜原村長)
しらと たろう ※2 白戸 太朗	東京都議会議員
すずき ひろし 鈴木 弘	東京私立中学高等学校協会広報部長(香蘭女学校中等科・高等科校長)
たかの のりお 高野 律雄	東京都市長会(府中市長)
なかの ひでのり 中野 英則	(公社) 東京都障害者スポーツ協会会長
なかや ふみたか ※1 中屋 文孝	東京都議会議員
○ なみき かずお 並木 一夫	(公財) 東京都体育協会理事長
◎ のがわ はるお 野川 春夫	順天堂大学スポーツ健康科学研究科特任教授
ふじた もとあき 藤田 紀昭	日本福祉大学スポーツ科学部学部長
ふなさか ちかお ※2 舟坂 ちかお	東京都議会議員
ますだ あけみ 増田 明美	スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教授
まつお てつや 松尾 哲矢	(公財) 日本レクリエーション協会理事(立教大学コミュニティ福祉学部教授)
まの よしゆき 間野 義之	早稲田大学スポーツ科学学術院教授
みずむら まゆみ 水村 真由美	お茶の水女子大学基盤研究院教授
みやち もとひこ 宮地 元彦	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部長
やまざき たかあき 山崎 孝明	特別区長会(江東区長)
ヨーコ・ゼッターランド	スポーツキャスター、(公財) 日本体育協会理事

◎ 会長 ○ 副会長 (五十音順・平成30年3月1日現在)
※1 平成29年7月24日まで ※2 平成29年9月1日から



東京都スポーツ推進総合計画

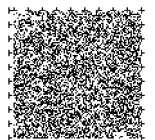
印刷物規格表第2類

印刷番号 (29) 127

平成 30 年3月 発行

編集・発行 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
〒 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)7723 FAX 03(5388)1337
<https://www.sports-tokyo.info/>

印 刷 正和商事株式会社
〒 161-0032 東京都新宿区中落合一丁目6番8号
電話 03(3952)2154 FAX 03(5952)2158





TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT

